

地域の実情と課題

「飯塚市女性の労働状況に関する事業所調査結果報告書」にて、本市の管理職全体の男女比は男性8割、女性2割。そのうち係長相当職の女性割合は3割弱だが、課長、部長の職の女性の割合はそれぞれ1割代であり、課長職以上の職につく女性が少ないことが確認された。本市にも活躍されている女性はいるが、その存在が市民向けにクローズアップされることはなかった。

そのため市報「広報いいづか」に、隔月で市内事業所で活躍する女性取締役や起業家等を紹介し、市内女性のエンパワーメントにつなげ、本市の女性活躍の気運を高めるもの。（記事タイトルは「きらり飯塚」）

事業の特徴

市報に市内で活躍する女性のインタビュー記事を掲載し、本市で活躍する女性の認知度を上げ、女性活躍の気運を高めるもの。

事業所で働く女性だけをとりあげるのではなく、本市の文化振興、社会貢献等に取り組む女性もとりあげ、本市でもさまざまな分野で、女性が活躍していることを知ってもらえるよう努めた。

事業の効果

これまで市民向けにクローズアップされることのなかった、本市で活躍している女性を市報で紹介することで、市内の女性活躍の気運を高めることができた。

目的・目標

市報「広報いいづか」に隔月で女性取締役や起業家等を紹介し、市内女性のエンパワーメントにつなげ、本市の女性活躍の気運を高めるもの。

目標

市内女性の記事掲載回数：年度内6回 実績：6回

連携団体

飯塚市関係各課

今後の課題

今後も本市の女性活躍の気運を高めるため、さまざまな取組を研究していく必要がある。

